

【学校教育目標】

ふるさとを愛し、未来の創り手となる児童生徒の育成（有中校区共通）

～夢に向かって挑戦し、レベルアップを図る児童の育成～

【目指す資質・能力】 論理的思考力・探究力・創造力・コミュニケーション力・共感力

【一年間のステップ】 ガイダンス（夏休み前まで）→挑戦（冬休み前まで）→レベルアップ（春休み前まで）

- 1 学校経営の基盤・・・「自信」と「誇り（プライド）」を育む豊水小の教育実現のために、児童・保護者等との信頼関係を基盤にすえ、内発的な動機づけを意識した経営の実践→「考える力」による持続性のある改善力を生み出す

○子どもが輝く・・・感染症予防への全力投入→安全・安心な学校、「分かった・できた・すっきり感」を実感する授業。Tトレによる行動変容へ。豊水小の一番の自慢は豊水っ子。→「自信」と「誇り（プライド）」を持った児童を育てる

○教師が輝く・・・意識して笑顔で気配り・プラスワンで働く。教師の良さが生かされる。

○地域が輝く・・・地域の教育力の活用。Win－Winの関係作り。地域学校協働活動の充実

- 2 学校経営の方針 「考える力」による持続性のある改善力を生かした経営

合い言葉：「笑顔・元気・いい心」いっぱい学校

- (1) 教師力の向上～意識して育ての心を持つ教師。意識して心のケアをできる教師であること

○「教師は授業で勝負」・・・学び続ける者こそが教える資格を持つ（フレームリーディングとTトレの確実な実践を）そして、授業で子どもの瞳を輝かせ、自信をつけさせ、夢を持たせる。

・全員参加型の授業づくりをする。（聞く姿勢の指導の継続とめあてからまとめ・振り返りのある授業）

・肯定的注目と25％ルールで、短く、あっさりほめる。好ましくない行為には教育的無視。危険な行為はすぐにやめさせる。←目標を持たせ、Tトレの手法で褒めながら望ましい行動を増やしていく。

・一時間の伸びやすさ・すっきり感を実感させるための評価・言葉かけの重視。校内研の共通実践事項の積み上げ。学習成果の発表（校内掲示・校内放送・HP等の利用）→伸びの実感・自信へ

○「学習指導＝即生徒指導」声かけと評価により自己有用感と自己肯定感を育む

○「言葉・話・静かさを大切に」・・・落ち着きを意識した学級環境

・教師は最大の教育環境。自分の言動が子ども一人一人の人格形成に深く関わる。決して心を傷つけない。心に寄り添う

・読書によるコミュニケーション力・共感力・創造力のアップ

○「凡事徹底」＋「反応力」・・・ガイダンスをもとに、目標に挑戦させること。そして、あたりまえにできるように習慣化を図る。挨拶・「はいっ」の返事の底上げを図る。（←やればできるのに1回目にできていない。）→キャリア教育等の充実へ

○「主体性を育てる」・・・主体性を育てるためにも目標（めあて）を持たせ、児童の言葉を引き出し、授業への参画意識を高める。「教師から与える」発想から、「子供から引き出す」発想への転換

- (2) 人権教育・特別支援教育の視点を意識した環境づくり・・・静かさの中に活気を

○児童の特性や環境への理解を。気になったら電話。電話より家庭訪問。教育→今日行く

○授業のユニバーサルデザイン化。見通しを持たせる。視覚的指示等。

- (3) 組織力の向上・・・「考える力」による持続性のある改善力→協働体制→働き方改革へ

○「報告・連絡・相談・確認」の徹底・・・初動全力が問題解決の鍵（初動全力の原則）。明日に持ち越さない。後で後悔しても時間は戻せない。

○オフサイトミーティング（気楽にまじめな話をする）を意識した情報共有→考える力による指導・協力体制へ。

- (4) 信頼される学校・・・子どもの成長した姿と正確な情報の発信から保護者や地域から信頼が生まれる。

○地域とともにある学校づくり

・地域、保護者の信頼と協力なくしては、学校は成り立たない。情報発信のチャンスを生かす。学級便りを大切にし、子供の成長や伸びを積極的に伝え、家庭でも自己肯定感を高めてもらう。

・美しい学校環境づくり。季節の花々、掃除の行き届いた空間、整理整頓（きれいな学校は成長する）

○教職員としての使命と責任を果たす・・・不祥事の防止、「自信」と「誇り（プライド）」を育む教師に。

豊水小が大好き！全児童56名誰もがそう思えるように